据置型先行手摺枠（アルミスカイガード）

墜落労働災害防止に 3つの効果

1 ●常に、枠組足場の組立・解体作業時に「手すり枠」があり、安全に作業をすることが出来ます。

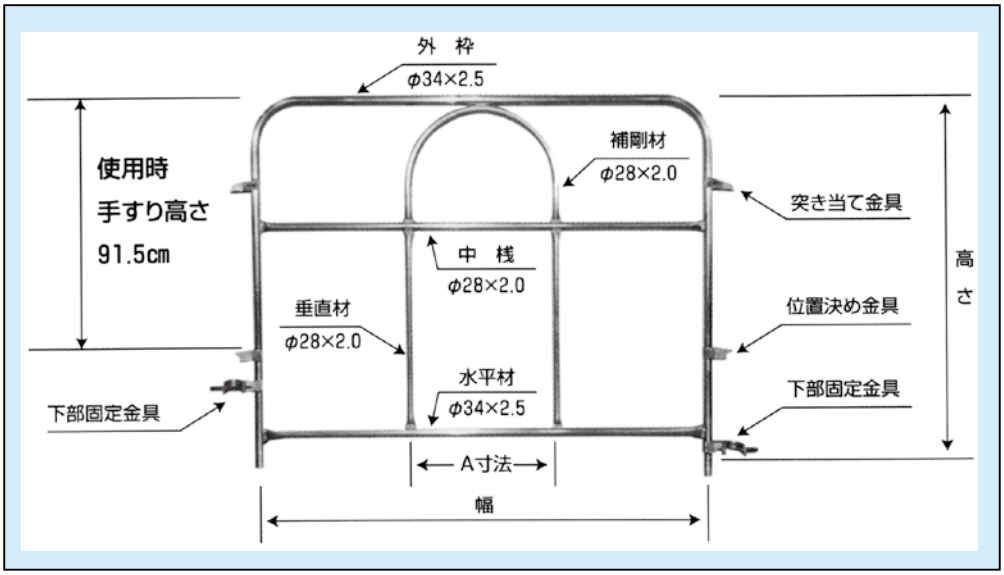
2 ●スカイガードには、中桟、2本のタテ桟があり、中腰作業での転倒などによる墜落を防止することが出来ます。

3 ●手すり枠は、手すりの高さが91．5cmあり、乗り越えなどによる墜落を防止することが出来ます。

●スカイガード全般についての使用方法は取扱説明書を参照することをお願い致します。

高い機能性による安全対策

超軽量による取り付け作業時の取り回しのしやすさや、取り付け工程の削減による時間短縮など、作業者にやさしい利便性と機能性を両立させています。



■ 型式別主要寸法及び重量

型　式	塗　装　色	高さ(mm)	幅(mm)	A寸法(mm)	重量(kg)
ASG-18	黄	1307	1683	530	7.0
ASG-15	青	1307	1378	424	6.4
ASG-12	赤	1307	1073	424	6.0
ASG-09	黄	1307	768	316	5.3

■ 積載数量（ASG-18の場合）

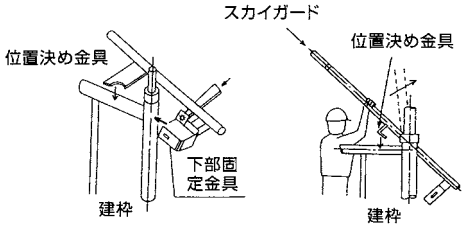
トラック標準積載量	
240枚／4t平	180枚／4tu
420枚／10t平	300枚／10tu

据置型先行手摺枠（アルミスカイガード）

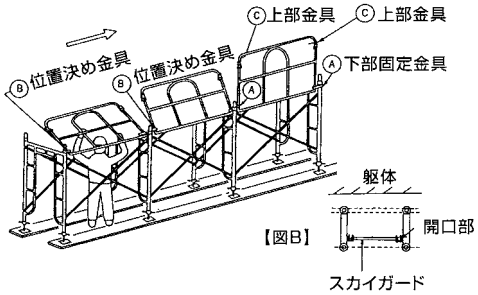
組み立て方

1

スカイガードの位置決め金具をジョイントの方に寄せさらに立て起こします。この下部固定金具により足場の外側に絶対落ちない構造になっております。



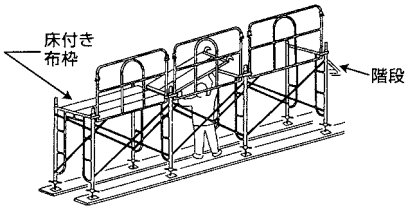
【図A】



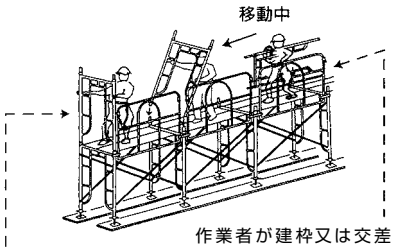
【図B】

スカイガードの仮置きは下部固定金具のU字形開口部をB図のように置きます。

2 床付き布枠、階段を取り付けます。



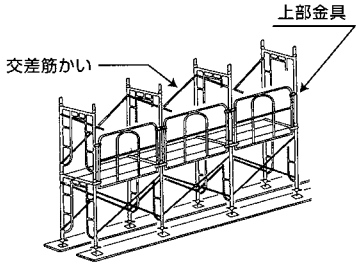
3 建枠の取付



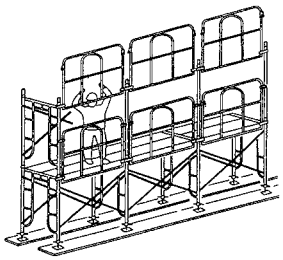
足場の両サイドの建枠を組み立てる場合には、スカイガードの手すりに安全帯を取り付けて作業をして下さい。

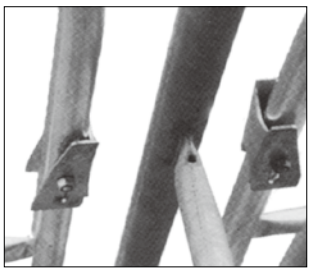
作業者が建枠又は交差筋かいを運搬するときには、必ず肩に担ぐか又は手に持ち、片手はスカイガードの手すりにつかまりながら作業床上を移動することを厳守して下さい。

4 交差筋かいを躯体側に取り付けます。その後建枠にスカイガード上部金具を突きあてます。

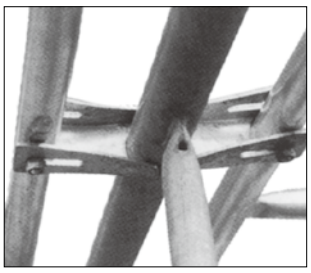


5 スカイガードを建枠に取り付けます。





▲建枠を取り付けた時に上部金具は垂直状態になっています。

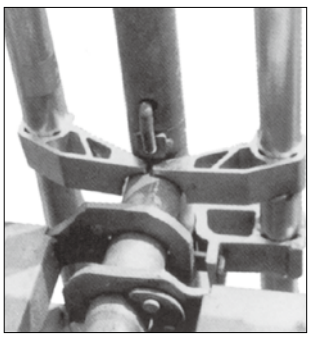


▲上部金具を上に引き上げ、建枠に水平に突きあてた状態。

▲建枠を肩に担つぎ、片手はスカイガード手すりにつかまりながら移動中。

▲足場の先端部に建枠を取り付ける場合にはスカイガードの手すりに安全帯を取り付ける。

▲建枠に上部金具を突きあてます。



▲アームレスジョイントの建枠にも取り付けられます。